

行政と民間で協働できることを考える

～河原共助会が「ふれあい食堂」から地域共生社会を
MOWLSで「食でつながる居場所」を目指す～

報告者:「ふれあい食堂」代表・「河原共助会」事務局
鳥取県隣保館連絡協議会理事(地域食堂推進委員長)
鳥取市河原人権福祉センター所長 大門 康裕

報告者:「河原共助会」会員
鳥取市社会福祉協議会 鳥取市第2層SC
西尾 宏美



鳥取市河原町

人口世帯：6, 397人・2, 467世帯

公共施設：鳥取市河原町総合支所
 中学校1校・小学校3校
 保育園3園・地区公民館5館

区内状況：高齢化、過疎化が進む
 農業が主体、梨、柿、鮎有名



本日の報告の内容

- ◎ 「ふれあい食堂」の活動内容について
- ◎ 市社協と「河原共助会」、「ふれあい食堂」の関わり、支援について
- ◎ 「河原共助会」の取組について
- ◎ MOWLSとの関係、意義について

「ふれあい食堂」 NHK放送映像



NHK 地域づくり アーカイブス

URLコード

https://www.nhk.or.jp/chiiki/movie/?das_id=D00150982_0000

都道府県で探す → 鳥取県

『大事ななのは「共に食べること」コロナ禍のこども食堂』

広島のパップ食堂の後に流れます。



「ふれあい食堂」 立上げ経緯



- ◎ 平成30年6月 地域食堂打合会を開催
- ◎ 平成31年4月 地域食堂開催進展なし
- ◎ 令和元年5月 地域食堂の試験的实施決定
- ◎ 令和元年7月～9月 河原人権福祉センターで実施
調理ボランティア7名（児童館厚生員、手話通訳者、主婦）
- ◎ 令和元年10月～12月 河原町コミュニティーセンターで実施
調理ボランティア11名（市社協SC、河原町社協、地域包括
支援センター、民生児童委員、人権擁護委員、主婦）



注意：令和元年は平成31年5月から

「河原共助会」の発足

試験的实施から見えてきた問題や課題をなんとかしたい。



- 相談機関の参加で参加者の困りごと解決
 - 鳥取市社会福祉協議会地域支え合い推進員○児童館厚生員
 - 鳥取市社会福祉協議会南部地域包括支援センター○人権擁護委員
 - 鳥取市社会福祉協議会河原町総合福祉センター○民生児童委員
- ボランティア活動で充実感を味わう。
- 共に支え合う人間関係を築ける。
- 食堂に対する思いやりや、やりがいを持って、お互いが依存し合える。

河原共助会発足決定！！

「河原共助会」スタート

◎ 運営は「河原共助会」が主体

- 「ふれあい食堂」は誰でも参加
- 「ふれあい食堂」は子どもが中心にいる

「ゆるくて居心地のよい小さな空間」



- 令和2年6月6日18名で「河原共助会」を発足
- 令和2年9月26日「ふれあい食堂」をスタート

「ふれあい食堂」のネットワーク

河原共助会

- 高齢者等買物支援
- 学習支援
- 我が事丸ごと隊
- 遊び支援
- 相談支援
- ものづくり支援

鳥取市地域食堂ネットワーク
資金・食材等の提供、学生支援など



出合い・ふれあいプラットフォーム



ボランティア団体、民生児童委員、人権擁護委員、地域団体、住民等

マルサンアイ、河原道の駅

保育園、小学校、中学校

地域共生に資する地域活動
【ふれあい食堂】

NPO法人和貴の郷

市社協地域支え合い推進員、河原町総合福祉センター、南部地域包括支援センター

出合い・ふれあいプラットフォーム

介護老人保健施設河原、河原あすなろ等の施設
認知症カフェ

Sマート、いない、JA、など町内の商店企業等

河原町総合支所、鳥取市中央人権福祉センター

「ふれあい食堂」 タイムスケジュール



9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00



会場設営

調理

学習支援

遊び支援

ものづくり支援

配膳

食事



後片付け

会場撤収

プラットフォーム会議



買物ツアー実施



手話の練習



「ふれあい食堂」で役割をもつ喜び

多世代が集まる居場所であり、



多世代の交流の場であり、問題解決の場。



役割をもって参加！！

「感謝されたい」「喜ばれたい」「必要とされたい」

「自信につながる」「生きがいややりがいを感じる」



役割が楽しい！！



「ふれあい食堂」は

「何もできなくてもいい、

そこに行くだけで誰かの役に立つことがある」

参加者が役割を持った「ふれあい食堂」

「今は行けなくても、

いつでも行くことができる」場所

地域の常夜燈であり、

地域の灯台であり続けたい。！！

「ふれあい食堂」と私



【自己紹介】

所属:鳥取市社会福祉協議会 地域支え合い支援課
地域支え合い推進員
(生活支援コーディネーター/SC)

地区担当:国府・河原・用瀬・佐治

【鳥取市社協】

平成16年11月に**1市6町2村**(鳥取市・国府町・福部村・河原町・用瀬町・佐治村・気高町・鹿野町・青谷町)の**市町村合併**に伴い、市社協も合併。

1市に本庁、6町2村には、総合福祉センター(支所)が存在します。

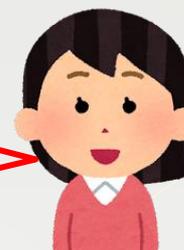
【関わりの経過】

令和元年7月…河原町総合福祉センターの所長から声かけがあり、地区担当として試験開催時より参加。

令和2年9月…「ふれあい食堂」が本格スタート
「河原共助会」のメンバーとして参加する！



「ふれあい食堂」は地域や人を知る場所であり、地域課題や福祉ニーズも発掘できることから、「河原共助会」のメンバーに参加することを決意しました！
※調理も担当します。



「ふれあい食堂」とSCの役割①

【SCの役割①(個別ケース)】



(アウトリーチの中での発見)

☑「ひとりで寂しいだが、、」という高齢者に対して
食堂の紹介・参加の声掛けを促す

☑ 元気な高齢者には食堂のボランティアへの参加を促す



地域で孤立している方（高齢者等）を地域社会の一員として参画できるような環境を整えて、関係者や地域住民の方の協力を得ながら後押しを行うこと！

「ふれあい食堂」とSCの役割②

【SCの役割②(地域とつなげる)】

地域資源や専門機関を居場所へとつなげること(コラボレーション)で、新しい発想が生まれ、できることも増えていく。



【活動中でのひらめき】

☑近くで開催している認知症カフェの参加者にも声をかけ、一緒に食事をするという取り組みができるのでは？と提案。



☑ SCとして認知症カフェとの「つなぎ」を行う



**一緒に食事をするだけでなく、認知症カフェからの参加者には、調理や配膳など出来る範囲で手伝ってもらおうようにお願いしました！
(役割を作る！)**

「ふれあい食堂」と支え合い(愛)のサイクル

【支え合い(愛)サイクルを目標に】

課題

河原町地域包括ケアシステム連絡会
(第2層協議体)

支え合い
活動

ふれあい食堂・共助会

地域・住民
個別支援

つながりの意識



河原共助会で拾った問題や地域課題を第2層協議体にあげ解決に向け協議を進めていく。

SCとして「知ること」「人脈作り」「気づき」を意識しながら、地域住民や食堂参加者のつなぎ役となる。

共助会の一員として、調理はもちろん参加者、ボランティアの話を聞きながら、ふれあい食堂が地域の居場所となり、心休まる場所となるようバックアップする。

「河原共助会」の取組

① つながりサポーター活動

深刻化する「社会的孤立」に対応するため、まずは「つながる」ことが支援の第一歩になる。

問題を深刻化させない、あるいは問題を抱えながら生きていくためには、**つながる＝ひとりにしないことが重要です。**

“つながりサポーター”の取組は、個人に対する支援の一環であるとともに、**人を孤立させない＝ひとりぼっちをつくらない地域社会の創造を目指します。**

つながりサポーター養成研修内容

(午前) 講義

◎ 「地域共生社会の実現と“助けて”と言えない人への支援」

日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏

◎ 「“ひとりにしない”という支援」

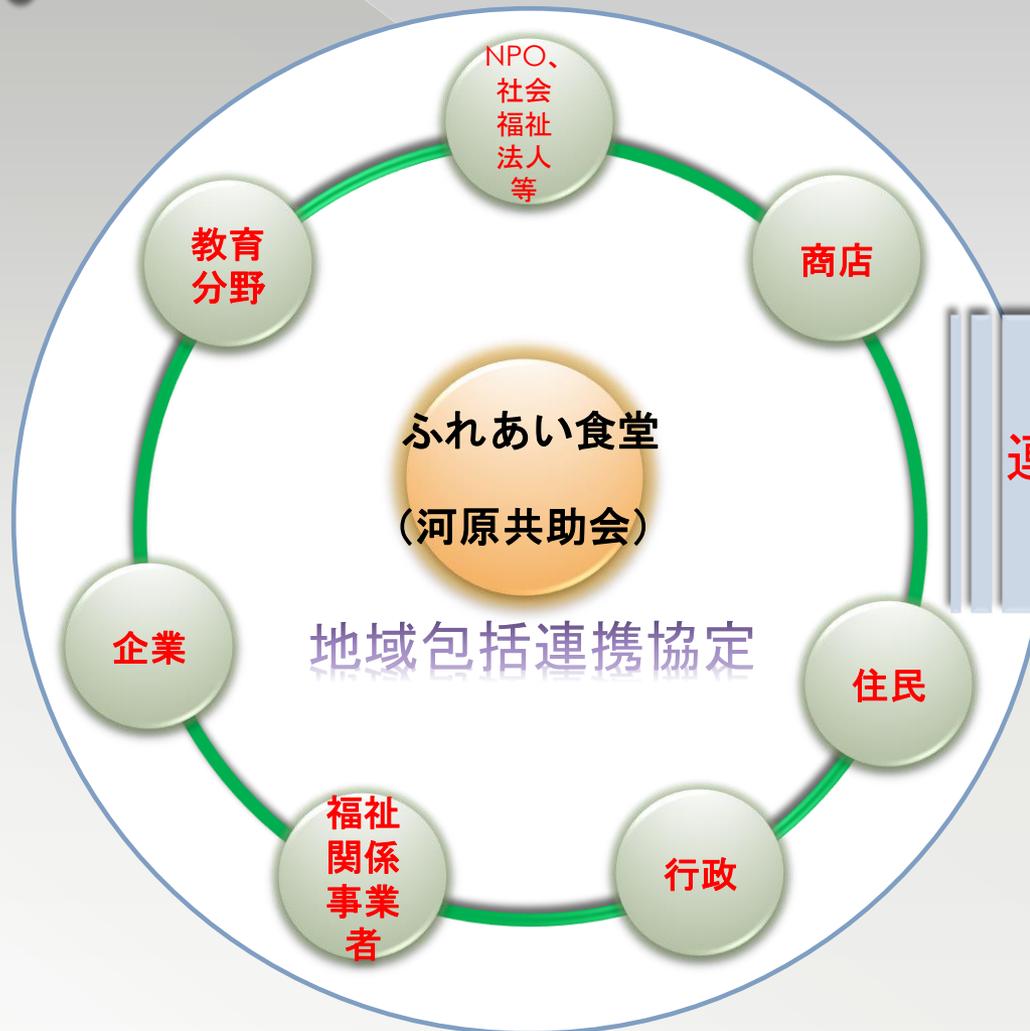
NPO法人 抱撲 理事長 東八幡キリスト教会牧師 奥田 知志 氏

(午後) グループワーク

- ・ 伴走型支援の理解を深める。身近にある多様な孤立ケースについて
- ・ 事例検討から考える。チームワークと社会資源とのつながりについて

「河原共助会」の取組

②地域食堂拠点・困りごとと解決支援



〈地域課題の解決〉

(例)

- ・ 社会的孤立防止のための居場所づくり
- ・ 高齢者の買物支援
- ・ 地域でのSDGs活動の展開

等々、地域共生に資する活動の促進

河原共助会

地域で暮らし続けるために、地域の支え合いと多様な人々の参画により地域課題の解決を試みる活動



地域の問題や困りごと（課題）を出す。



地域の資源やあるもの（魅力）を出す。



「問題」と「資源」をつなげる。（機能）



地域の企業等と解決できる具体的な企画を考案

解決支援例

問題、困りごと(課題)

資源、あるもの(魅力)

高齢者・認知の方・精神障がいの子供達の居場所がない

遊休農地がたくさんあり無料で利用出来る。

つなげる

遊休農地を利用して高齢者等の居場所づくりができないか。

内容は高齢者等に野菜作りをしてもらう。

人的・物的
的・資金

居場所

生きがい・やりがいを生む

収穫した野菜を地域食堂へ寄付(役に立つ)

野菜を販売する(利益)

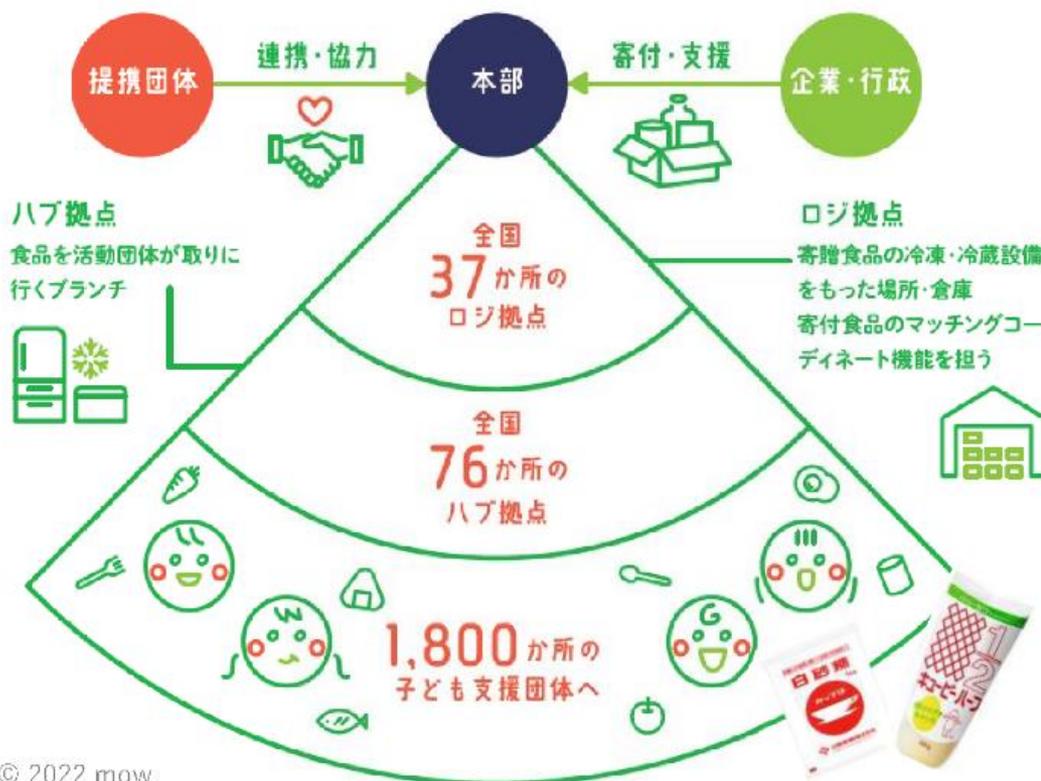
企業等が支援する。

社会貢献・SDGs活動
地域貢献など

ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (通称：モールズ) との関係と意義

「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」(通称:MOWLS)

子どもから高齢者まで、全国のこども食堂等「居場所」に集う
すべての人が食事を得られる環境づくり



✓ まとめて納品・荷受けすることで
寄贈時の**配送費**と**調整負担**
を軽減

✓ 小さな団体も寄贈が受けられる
環境整備



こども食堂サポート機能設置事業(2019~2022)
食の物流ネットワーク整備プロジェクト(2020~2023)

鳥取県隣保館連絡協議会



加盟館数 37館



地域食堂・こども食堂の状況

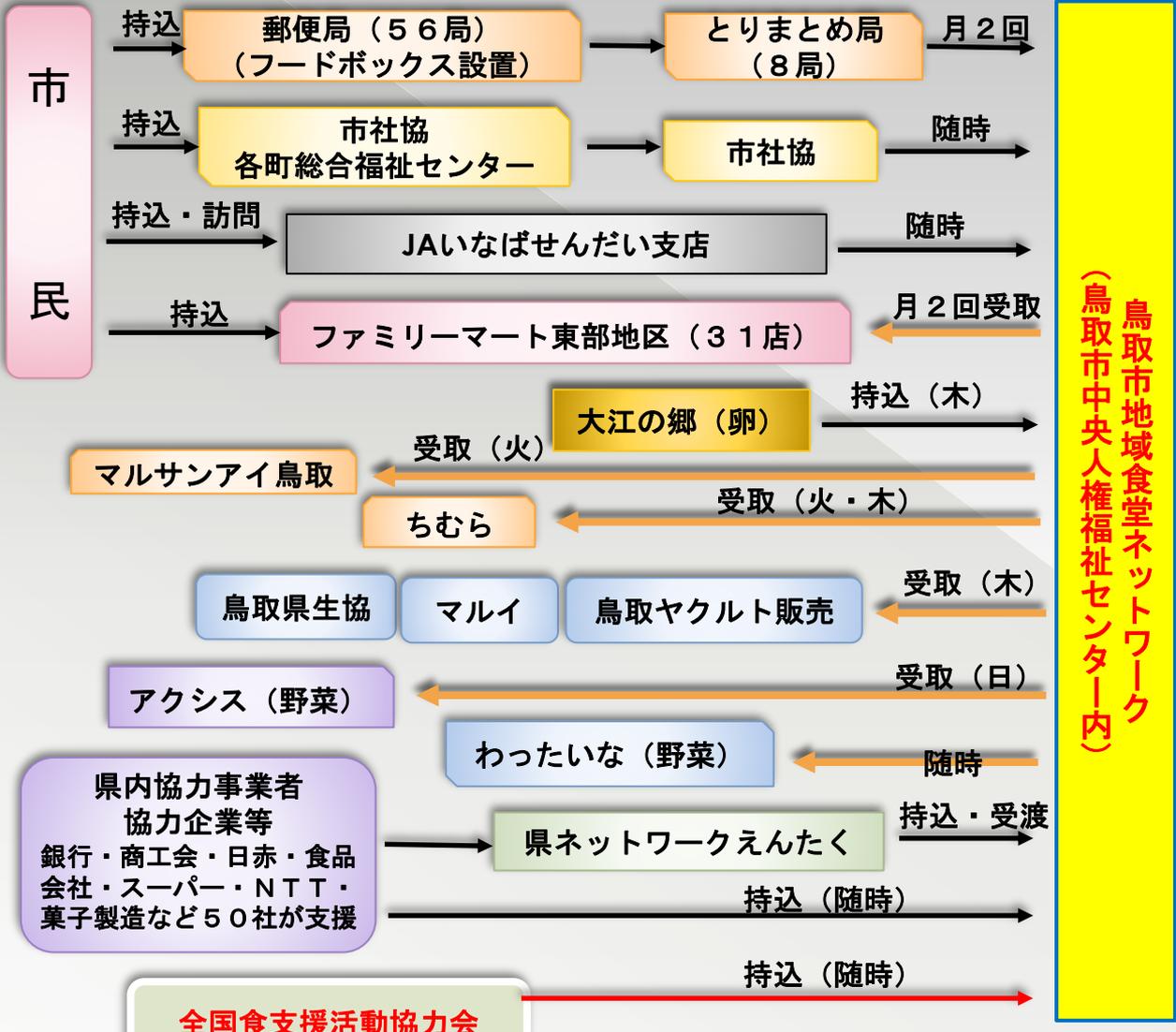
地域食堂・こども食堂 71カ所

鳥取県
TOTTORI



鳥取市の地域食堂の特徴

食材提供による地域食堂への流れ（東部地区）



受取（金） ← 地域（こども）食堂（9食堂）

配達（金） → 鳥取福祉会 → 地域（こども）食堂（15食堂）

配達・受取 → 東部地域（こども）食堂
岩美町（1食堂）
八頭町（3食堂）
智頭町（2食堂）

YouTube
QRコード



※鳥取市は政策上こども食堂を地域食堂としています。

鳥取県隣保館連絡協議会プロジェクト

鳥取県内（中部・西部）＋島根県（松江）までの
ハブ拠点と食料配送ルート構築

鳥取県内（中部・西部）
鳥取県隣保館連絡協議会（地域食堂推進委員会）

食の物流ネットワーク整備プロジェクト
令和3年



東部地区

拠点整備
プロジェクト
令和2年

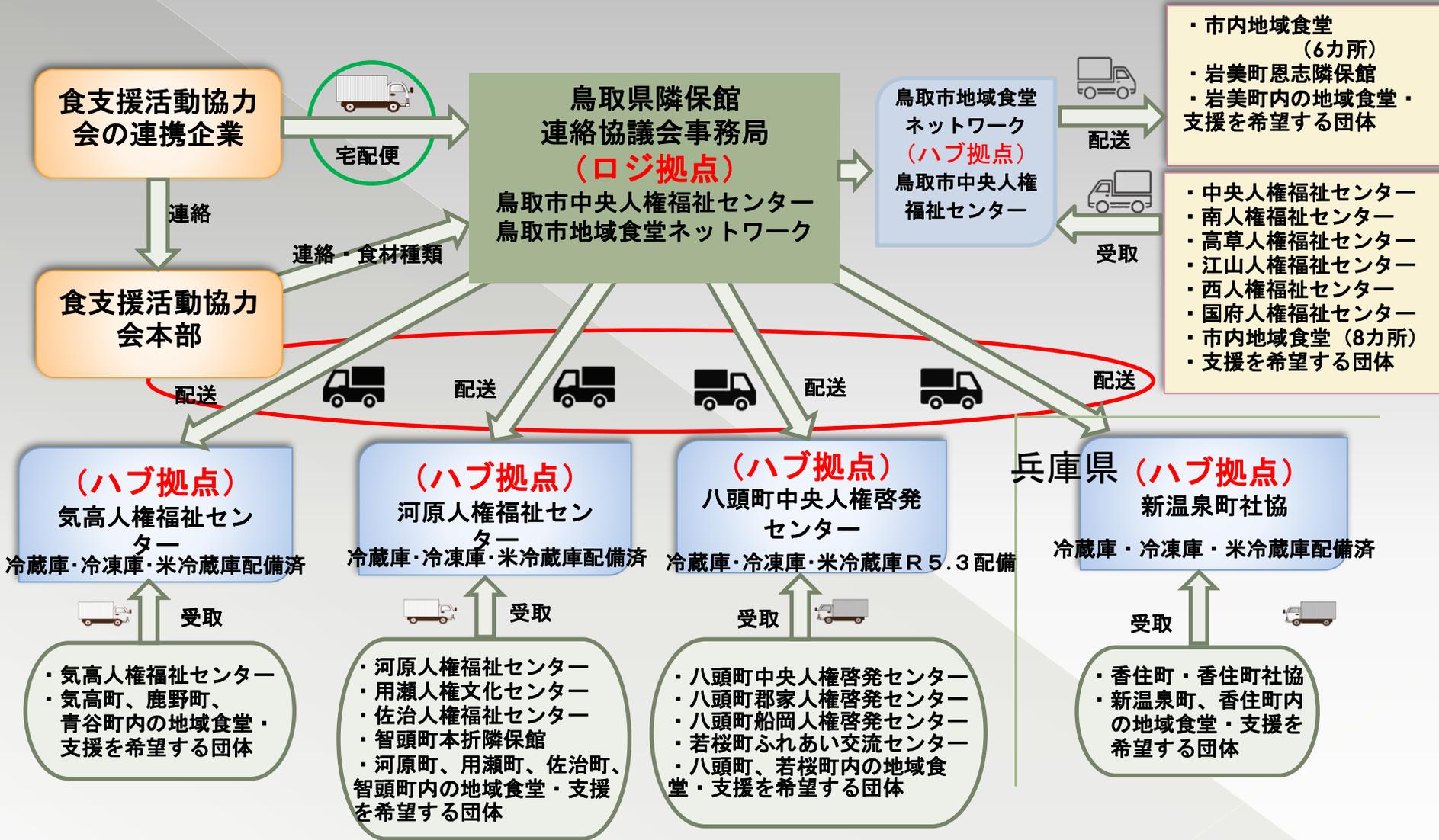


麒麟のまち連携中枢都市圏

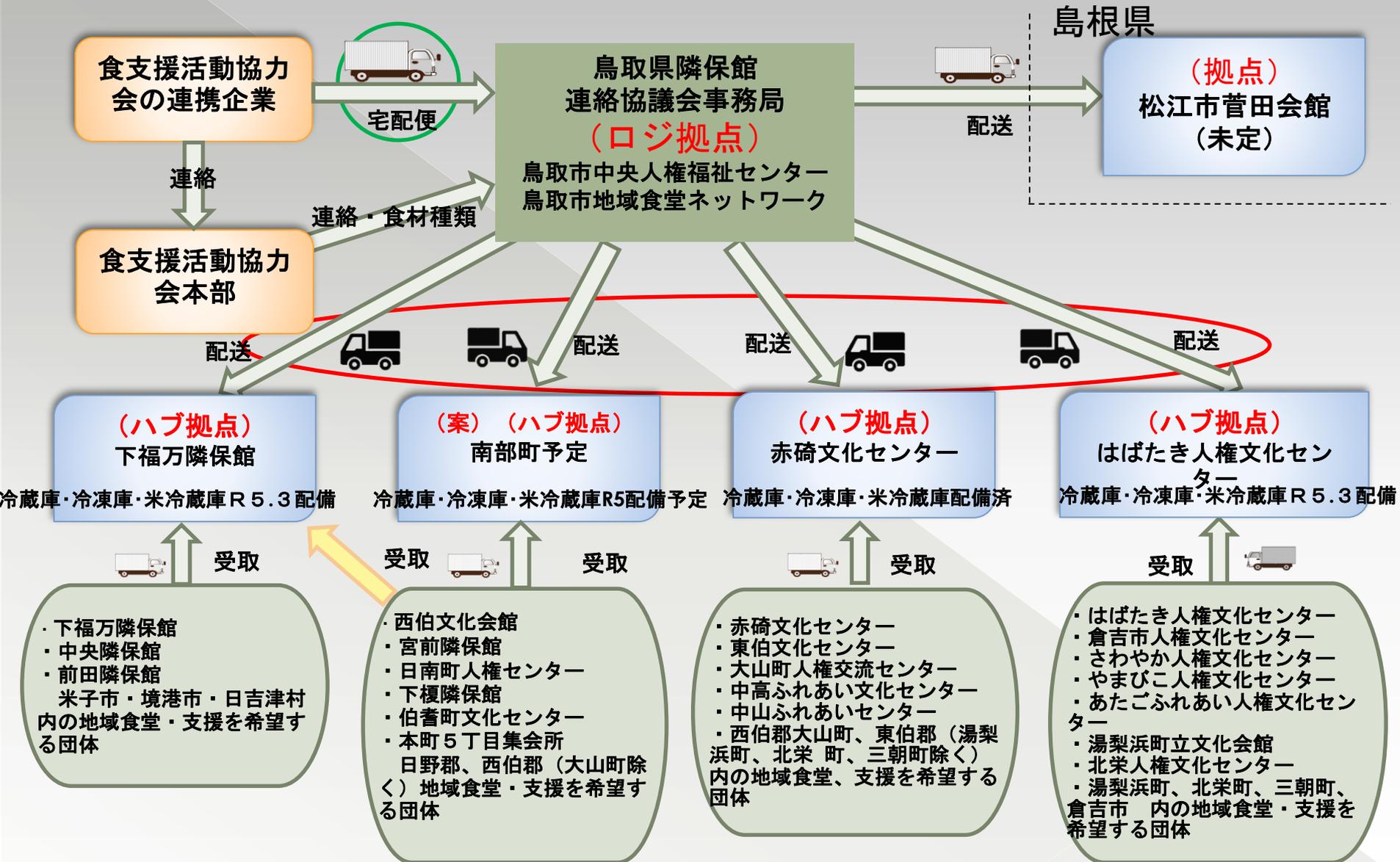
麒麟のまち
鳥取市地域食堂ネットワーク



東部地区隣保館 食材等の配布方法イメージ図



中・西部地区隣保館 食材等の配布方法イメージ図



麒麟のまちから出雲の国へ

鳥取県内(中・西部) + 島根県(松江市)までの
ハブ拠点と食料配送ルート構築



終わりに

「食でつながる居場所」は地域の新たな機能・役割です。

地域と食でつながることで、手を差し伸べ、そばに寄り添い、黙って聞き、涙を理解し、同じ歩調で一緒に歩くことを目指すことができます。

この食料支援システムは鳥取県で終わるのではなく、他県へ展開することで、地域の新たな景色、風景が見えてくるのではないのでしょうか。

行政と民間で協働できることを考える

～河原共助会が「ふれあい食堂」から地域共生社会を
MOWLSで「食でつながる居場所」を目指す～

ご清聴ありがとうございました。

報告者:「ふれあい食堂」代表・「河原共助会」事務局
鳥取県隣保館連絡協議会理事(地域食堂推進委員長)
鳥取市河原人権福祉センター所長 大門 康裕

報告者:「河原共助会」会員
鳥取市社会福祉協議会 鳥取市第2層SC
西尾 宏美